

(補足資料)

必須治療の基礎編

全身症状と関係する上位中枢bc+c+aレベルの治療

処方式

- ①To/2d+c+a
- ②rAxIII/bc+c+a+d/bc+c+a+d
- ③lAyIII/bc+c+a+d/bc+c+a+d
- ④lAxIII/bc+c+a+d/bc+c+a+d

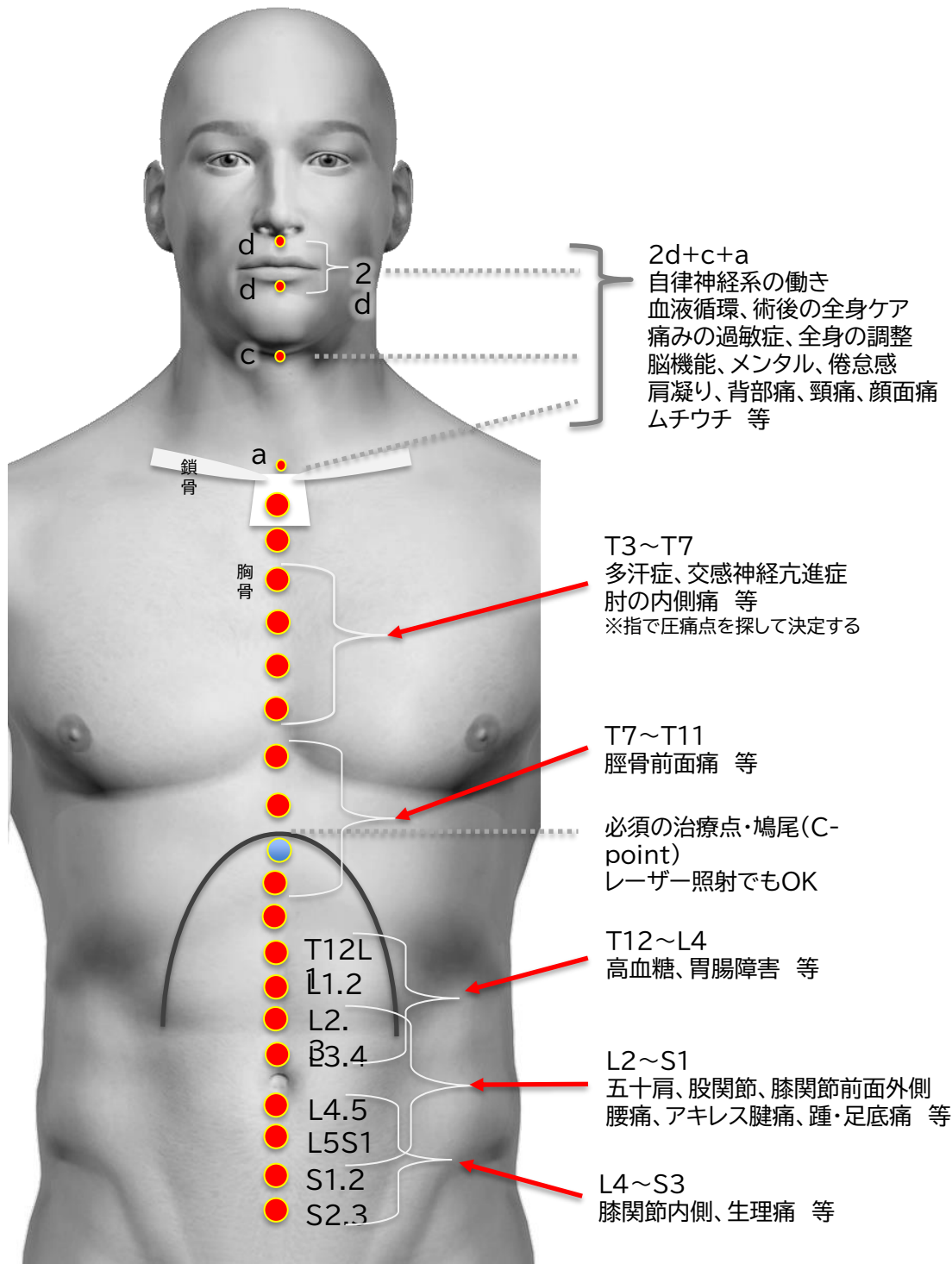
遠絡統合医学セミナー®運営事務局

日本遠絡統合医療研究所

株式会社システムプランニングコンストラクション

【照射部位と適応症状】

症状や身体部位によって照射するF-pointが決まっている。症状や病態によって選択するF-pointは四節づつ照射する方が自律神経節等の兼ね合いからも良いとされている。



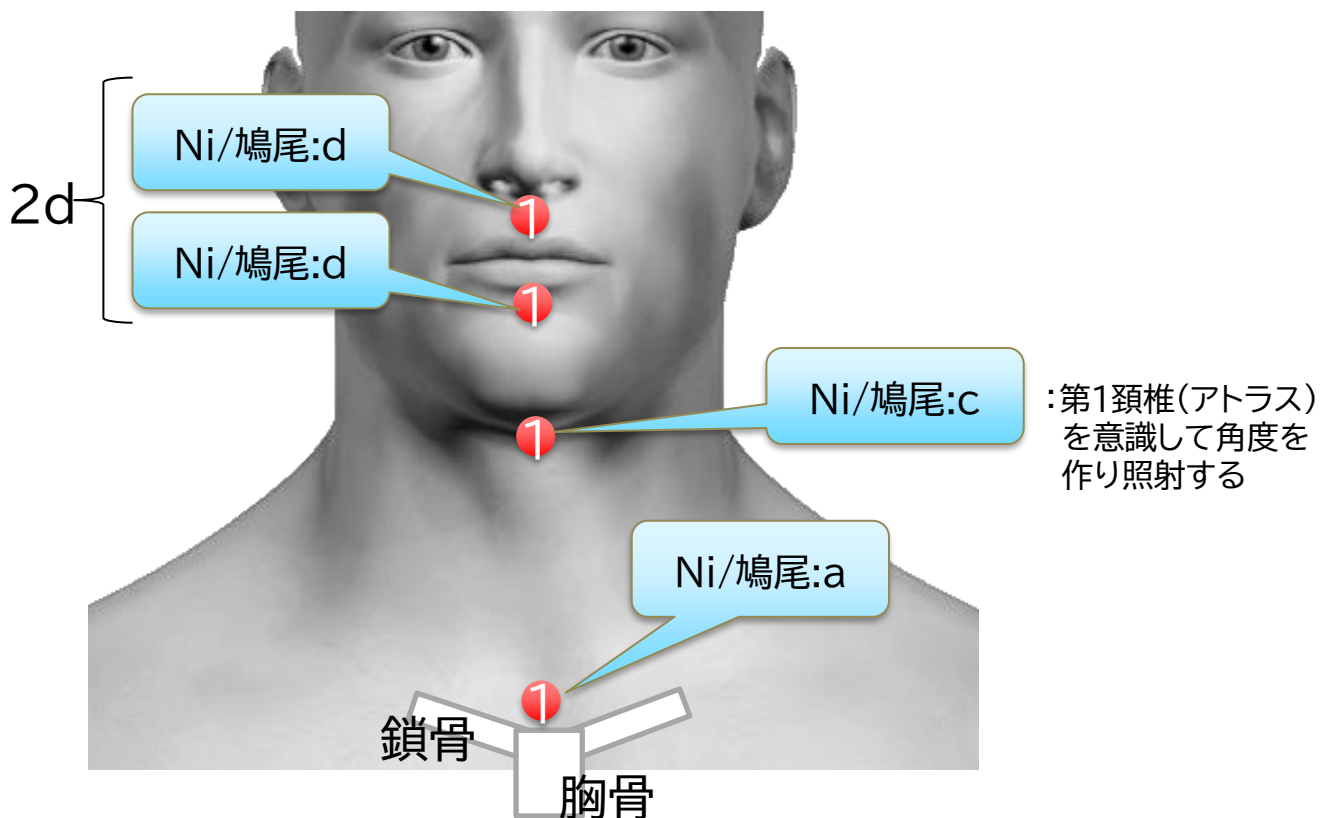
治療式の解説と治療実習～督脈治療の任脈処置～

処方式⇒治療式変換

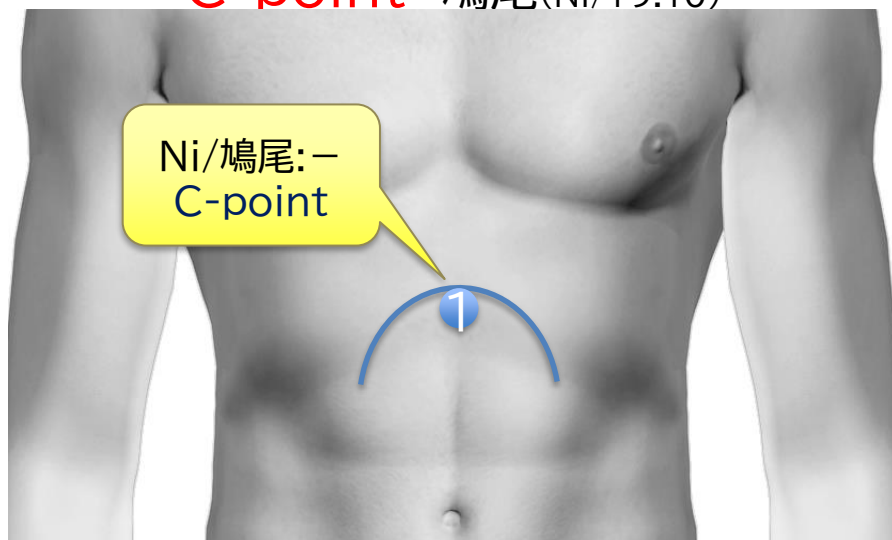
①To/2d+c+a

⇒Ni/鳩尾:2d+c+a …

1



C-point 鳩尾(Ni/T9.10)



陽経のTo(督脈)は
陰経のNi(任脈)と
表裏関係

- C-point鳩尾を深圧する事で、NiへのオペレーションがToへ影響する

治療式の解説と治療実習～接続～

処方式⇒治療式変換(接続)

②rAxⅢ/bc+c+a+d
/bc+c+a+d

⇒lTxⅡ/0:bc+c+a+d ……①

③lAyⅢ/bc+c+a+d/bc+c+a+d

⇒rTxⅠ/1:bc+c+a+d ……②

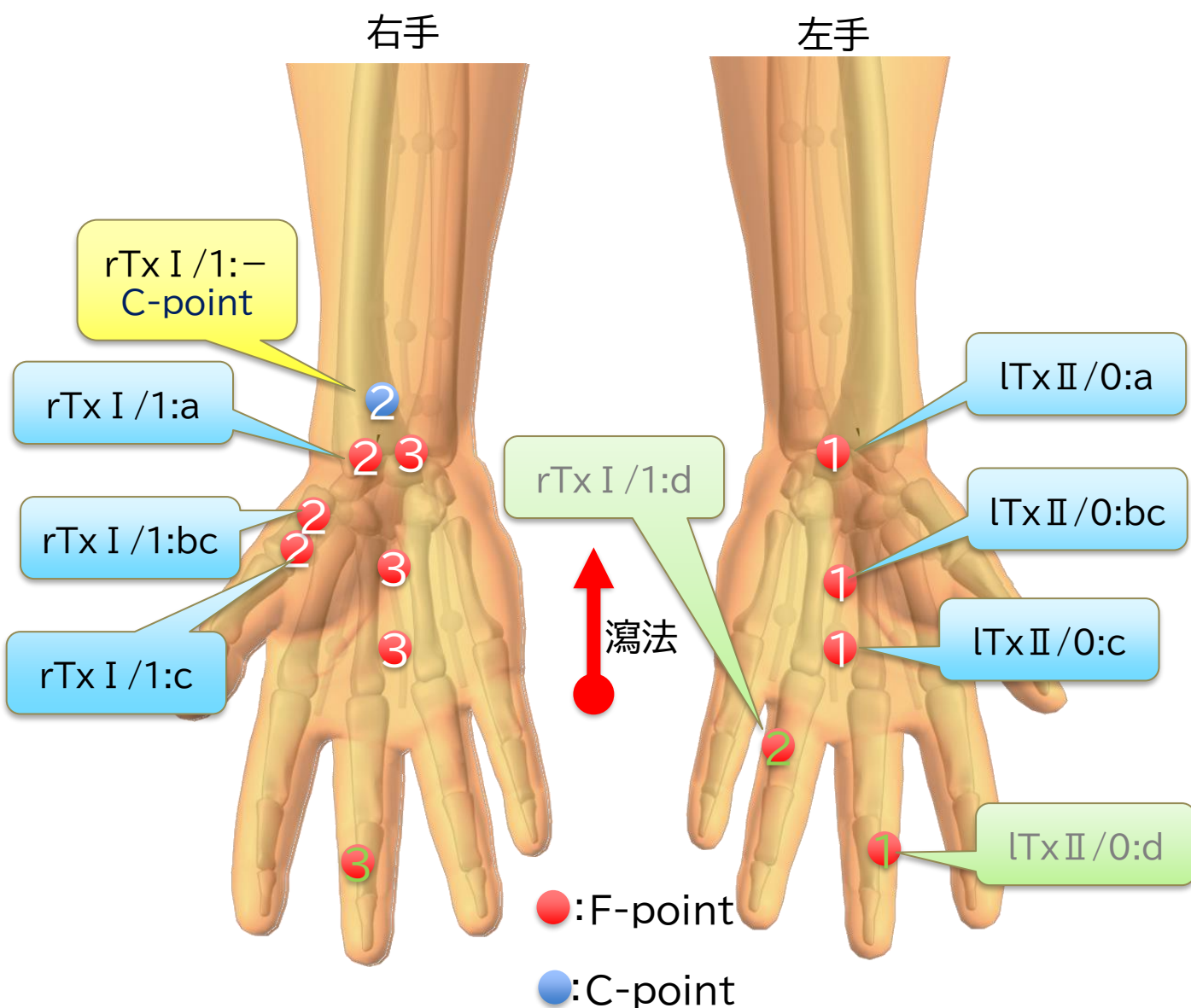
④lAxⅢ/bc+c+a+d/bc+c+a+d

⇒rTxⅡ/0:bc+c+a+d ……③

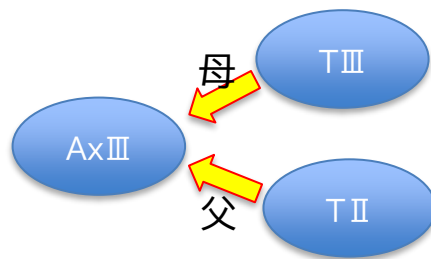
右のAxⅢを左のTxⅡで接続して詰りを掻き出し、流れを再建する。

左のAyⅢを右のTxⅠで接続して詰りを掻き出し、流れを再建する。

左のAxⅢを右のTxⅡで接続して詰りを掻き出し、流れを再建する。



治療式の解説と治療実習～補強その壱～



処方式⇒治療式変換(補強)

②rAxIII/bc+c+a+d/bc+c+a+d

⇒rTxIII/0:(bc+c+a+d)...

①

右のAxIIIを右のTxIIIと左のTxIIで補強し、AxIIIを強める。

⇒lTxII/0:(bc+c+a+d)...

②

④lAxIII/bc+c+a+d/bc+c+a+d

⇒lTxIII/0:(bc+c+a+d)...

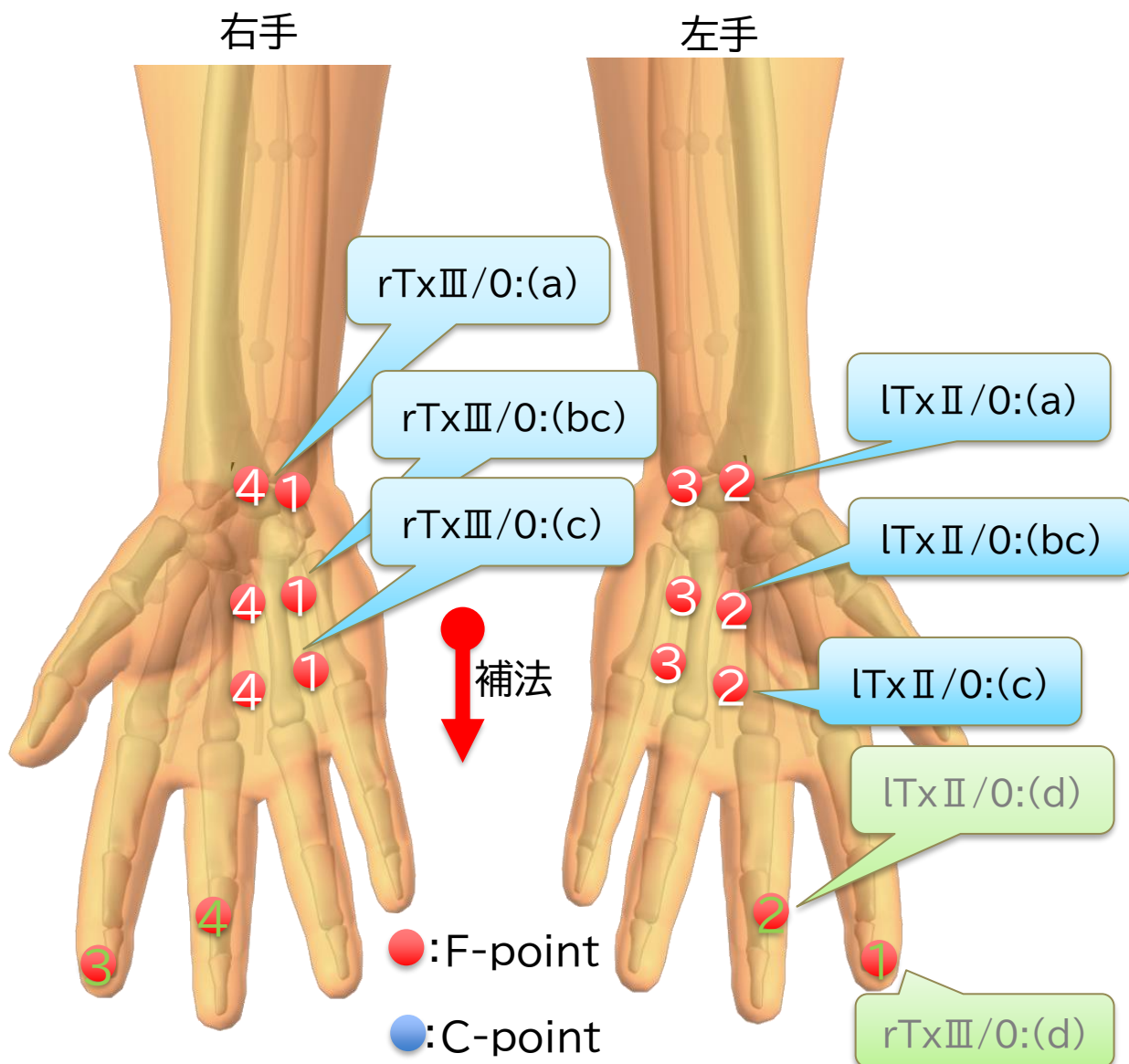
③

左のAxIIIを左のTxIIIと右のTxIIで補強し、AxIIIを強める。

⇒rTxII/0:(bc+c+a+d)...

④

※処置の効率化を図るために③の補強は④の後に行う。

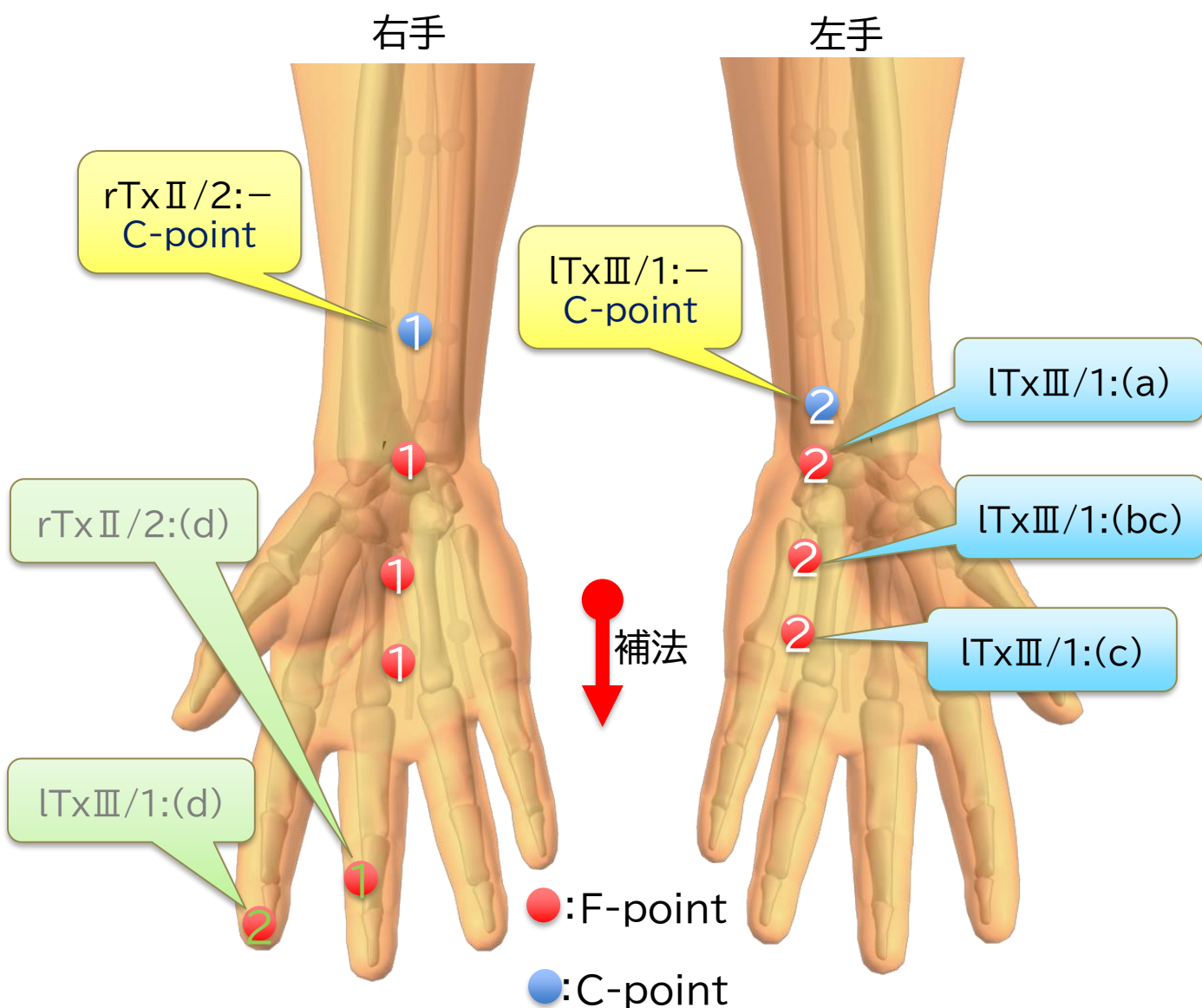
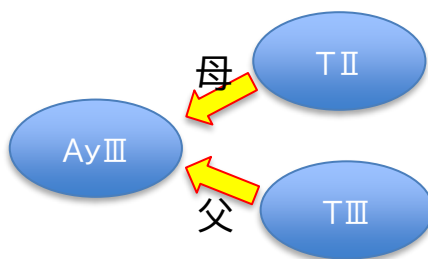


治療式の解説と治療実習～補強その式～

処方式⇒治療式変換(補強)

$$\begin{aligned} & \textcircled{3} \text{ lAyIII} / \text{bc+c+a+d} / \text{bc+c+a+d} \\ & \Rightarrow \text{rTxII} / 2 : (\text{bc+c+a+d}) \cdots \textcircled{1} \\ & \Rightarrow \text{lTxIII} / 1 : (\text{bc+c+a+d}) \cdots \textcircled{2} \end{aligned}$$

左のAyIIIを右のTxIIと左のTxIIIで補強し、AyIIIを強める。



治療式の解説と治療実習～相輔～

処方式⇒治療式変換(相輔)

$$\textcircled{2} \text{rAxIII} / \text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d} / \text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d} \\ \Rightarrow \text{lAx I} / \text{b} : (\text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d}) \cdots \textcircled{1}$$

右のAxⅢを左のAxⅠで相輔して、幅を広げて流れやすくする。

③I_{Ay}III/bc+c+a+d/bc+c+a+d

$$\textcircled{4} \text{I} \text{AxIII} / \text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d} / \text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d} \\ \Rightarrow \text{rAx I} / \text{b} : (\text{bc} + \text{c} + \text{a} + \text{d}) \dots \textcircled{2}$$

左のAyⅢとAxⅢを右のAxⅠで相輔して、幅を広げて流れやすくする。

